

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成26年10～12月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイアイアール）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA

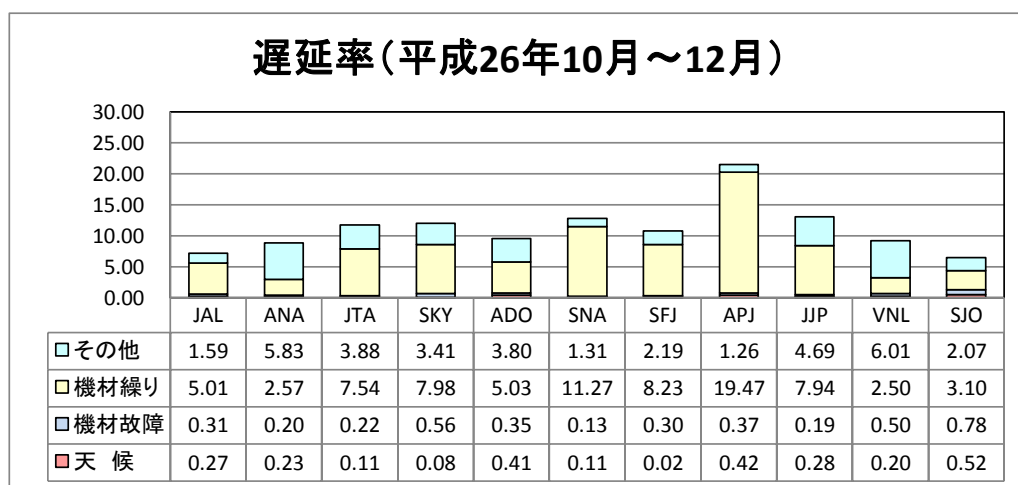
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- ハネーライア：VNL
- 春秋航空日本：SJO
- ※SJOは2014年8月1日から運航開始

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成26年10月～12月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
9.41%	8.46%	0.95ポイント上昇

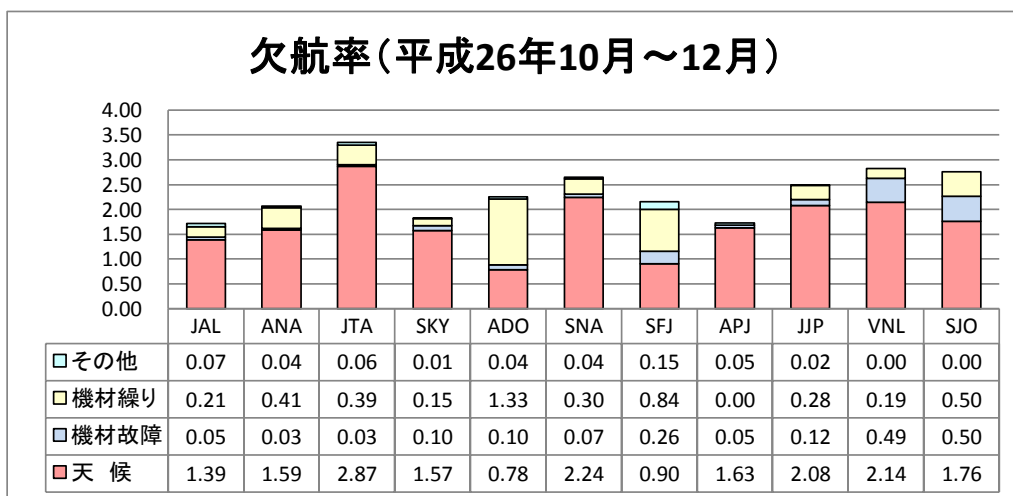
※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成26年10月～12月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
2.04%	1.25%	0.79ポイント上昇



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成26年10月～12月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	920km	900km	2.2%増
輸送人員	2346万8819人	2338万0798人	0.38%増
輸送人キロ	215億9696万人km	210億4748万人km	2.61%増
旅客収入	3405億43百万円	3325億79百万円	2.39%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.5千円	14.2千円	2.11%増
輸送人キロあたり 旅客収入	15.8円	15.8円	-

(2) 路線別データ（平成26年10月～12月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	219万5569人
2位	東京＝福岡	219万2159人
3位	東京＝大阪	138万7432人
4位	東京＝那覇	134万7376人
5位	東京＝鹿児島	57万9365人
	全路線	2319万9927人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	関西＝仙台	89.4%
2位	関西＝長崎	83.4%
3位	関西＝鹿児島	82.0%
4位	大阪＝函館	80.5%
5位	関西＝松山	78.0%
	全路線	66.5%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京＝大島	14.0%
2位	中部＝茨城	23.8%
3位	宮古＝石垣	27.2%
4位	成田＝米子	34.8%
5位	関西＝熊本	40.7%
	全路線	66.5%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成26年10～12月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった特定本邦上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	5.43人	2.60人
②	スカイネットアジア	1.88人	0.54人
③	全日本空輸	1.43人	2.27人
	全社平均	1.31人	1.95人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

(URL)http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html